



令和5年度



第2次川南町教育振興基本計画の推進 に係る報告



教育課 教育対策監 鈴木 一成



はじめ

【第2次川南町教育振興基本計画で目指すものとは】
ふるさと川南を愛し 未来を切り拓く 心豊かでたくましい 川南の人づくり



【R5重点事項
数】

《施策の目標Ⅰ》

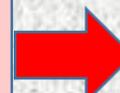
町民が生涯を通じて学び、教育に参画する社会づくりの推進



2

《施策の目標Ⅱ》

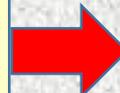
社会を生き抜く基盤を培い、未来を担う人財を育む教育の推進



(1)

《施策の目標Ⅲ》

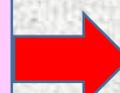
教育を支える体制や環境の整備・充実



8

《施策の目標Ⅳ》

文化やスポーツに親しむ社会づくりの推進



(2)

1 第2次川南町教育振興基本計画における令和5年度の重点事項について

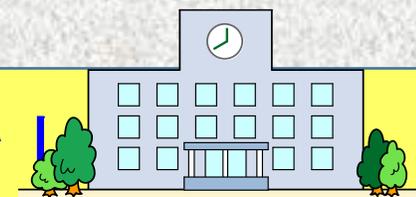
【施策目標 I】町民が生涯を通じて学び、教育に参画する社会づくりの推進

1 生涯学習まちづくり推進計画に基づく取組の推進



2 地域学校協働活動推進体制の整備、充実による「Team Kawamina mi学びのネットワークづくり事業(地域学校協働活動本部事業)」の展開とコミュニティ・スクールの一体的推進

☆ 地域学校協働活動（本部） 学校を核とし



☆ コミュニティ・スクール 地域とともにある学校づくり

学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的な推進（文科省）

学習指導要領	社会に開かれた教育課程		
	① これからのよりよい社会を創るよりよい学校教育とは？	② これからの社会を創っていく子供たちが身に付けるべき資質・能力とは？	③ 目標を達成するために、どのように社会との連携・協働を行っていくか？

情報の共有

基本方針の承認

熟議の実施

地域学校協働活動の実施

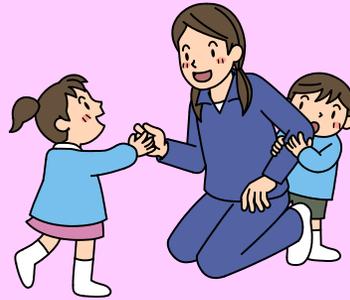


学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的な推進

○ 川南町における地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推

【現状】 ～ 一昨年度からの取組 ～

各学校の学校運営協議会に地域学校協働活動推進員を配置



- 唐瀬原中学校区、国光原中学校区に
1名ずつ配置 ※本年度から統括Coを新たに1名配置

- ◎ 学校と地域をつなぐ窓口ができ、連携強化が図られている。
- ◎ 「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」に
寄与している。

【実績】・・・12月22日現在（のべ189名、64事業所）

- 中学校の職場体験
- 理科の流れる水の働きや地層の学習
- 平和学習
- ◎ ふるさと料理（通山小）
- 家庭科のミシン学習の支援
- ◎ ウミガメ、海岸の様子の講話（東小）
- 昔遊び



【課題】

- 1 各学校の学校運営協議会と地域学校協働本部との**連携**
(ゆるやかなネットワークによる共通理解等)



- 2 学校運営協議会の内容及び決定事項等の**職員への周知**

- 3 学校の教育的課題解決に資する「**熟議**」の**時間不足**

【対応策】

- 1 夏季休業中に**ネットワーク会議**を開催する。
- 2 職員朝会等において**内容及び決定事項等の周知徹底**を図る。
- 3 4月の委嘱状交付式の説明会において、コミュニティ・スクール充実のための視点として「**熟議**」を大きく取り上げる。



施策目標Ⅱ 社会を生き抜く基盤を培い、未来を担う人財を育む教育の推進

1 学力向上のための組織的な取組の推進と学力向上 マネジメントサイクルの確立

2 読書する機会の充実を図るための学習活動の推進

3 幼保小連携・接続体制の整備

4 児童生徒と教職員の人権感覚を高める人権教育の推進及び
いのちを大切にする教育の推進

5 「ふるさと学習」の充実とボランティア活動など
地域に貢献する活動への積極的な参画の推進

6 縦の連携を重視したキャリア教育の推進及び地域との連携・協働
による体験的・実践的なキャリア教育の推進

7 グローバル化に対応した人材を育成するための国際理解教育
の推進及び外国語教育の充実

8 教育の情報化に係る環境の整備・充実及び情報モラル教育の推進



○ 学力向上のための組織的な取組の推進と学力向上マネジメントサイクルの確立



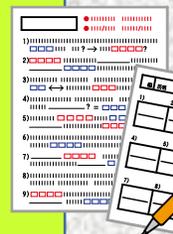
【現状】

《学力向上のための組織的な取組を推進していくために・・・》

- ◎ 本年度は、すべての学校において、学力向上を図っていく上で基盤となる「**読解力の向上**」に**焦点化**して校内研究を進めていくこととした。

《読解力の向上のための具体的な手立て》

- 1 **リーディングスキルテストの実施**（町内小学6年～中学3年を対象）
 - 読解力の向上に係るスキルの落ち込みを確認し、授業改善に活かす。
- 2 **教育講演会の実施**（国立教育研究所 新井 紀子教授）
 - リーディングスキルテストの効果的な利活用
- 3 **宮崎大学との連携**（教育学部附属教育協働センター 竹内 元准教授）
 - 校内研究の進め方や授業への指導助言等



《リーディングスキルテストと読解力の向上との関係性について》

1 リーディングスキルテストとは

教科書や新聞などのドキュメントの意味及び意図を、どれほど迅速かつ正確に読み取ることができるかの能力を測定するためのテストである。（国立情報学研究所 社会共有研究センターが考案）

2 リーディングスキルのとらえ方

リーディングスキル＝読解力の向上を図るための手段

3 測定できる6つのリーディングスキルと問題分野

測定できるリーディングスキル	問題分野
1 文の基本構造を把握する力	係り受け解析
2 代名詞などが話す内容を認識する力	照応解決
3 2つの文の意味が同一かどうかを判断する力	同義文判定
4 論理的に推論する力	推論
5 文と非言語情報(図表)を正しく対応させる力	イメージ同定
6 定義を読んで、言葉を正しく使いこなせる力	具体的同定

【特に伸ばしたい資質や能力】

- ・ 学びに向かう力
- ・ 情報を整理・選択する力
- ・ 論理的に説明する力

◎ リーディングスキルの視点に基づく授業改善



※ まずは、リーディングスキルテストを活用しながら1から6のリーディングスキルの落ち込みを確認し、宮崎大学と連携のもと、リーディングスキルの向上を図る。

日々の授業においてリーディングスキルの視点に基づく授業改善に取り組んでいけば、読解力の向上が図られるのではないか。【仮説】

※ 第6次川南町長期総合計画の成果指標である、全国学力学習状況調査等に対応できる読解力の育成にもつながっていく。

○ 学力向上マネジメントサイクル（PDCAサイクル）の確立

- ・年間研修計画作成
- ・読解力の向上に係る実態把握(RST)
- ・宮崎大学との連携の在り方の明確化



計画
(P)

- ・読解力の向上に資する日々の授業実践
- ・研究授業等による検証(大学との連携)
- ・宮日子ども新聞の活用

実践
(D)



改善
(A)

- ・日々の授業での工夫改善
- ・次年度の研究の方向性の明確化
- ・校内研修計画案の作成

評価
(C)

- ・みやざき学力学習状況調査(12月)
- ・CRTテスト(1月)
- ・定期テスト等(随時)

幼保小連携・接続体制の整備（川南町幼保小連携・接続推進会議）

- 1 期 日 令和5年5月16日（火）
- 2 目 的 幼保小連携・接続の重要性の認識を深め、今後の更なる連携推進への意欲喚起を図る。
- 3 講 師 宮崎市教育委員会 幼保小連携アドバイザー 柳 和枝氏
- 4 参加者 幼稚園・保育所（園）（16名）、小学校（10名）
- 5 研修内容
 - (1) 講話「これからの幼保小連携・接続の充実について」
 - (2) グループ協議「幼児期のおわりまでに育ててほしい姿」を手掛かりに、幼保小の先生と一緒に子どもの姿から話し合おう。」
 - ①子どもの現状についての情報共有
 - ②小学校の学習内容について（生活科の教科書を使って）
 - ③令和5年度の具体的な取組について

☆小1プロブレム解消のための初めての推進会議☆



6 推進会議の様子

①講話



②協議



【参加者の感想】

- （保育園）柳先生の講演では、具体的な事例を多く上げてくださり、今後の小学校との連携や交流に早速取り入れてみたいものもあり、大変参考になりました。また、連携の重要性や目的もよく分かりました。グループワークでは小学校の先生方の説明が大変分かりやすく、質問にも丁寧に答えていただき、小学校入学後の子どもたちの現在の様子がとても良く分かりました。保育所での活動の目安にしたい具体的内容もありました。また今日お会いした事で今後も良い連携を取っていけそうな気がしています。
- （1年担当）柳先生の講話の中で具体的な実践や写真を見せていただき、校区内の保育園の先生と話げできたことで、子どもの姿を思い浮かべながら、より具体的な取り組みについて考えることができました。話し合ったことを、学校に持ち帰り、職員全員で理解し、実践していきたいと思えます。
- （校長）直接園長先生方とお話できて大変有意義でした。互いの壁が取れました。

施策目標Ⅲ 教育を支える体制や環境の整備・充実

1 教職員の専門性を高めるための校内研修を中心としたOJTの推進、教育研究所研究員と連携した学校支援



2 働き方改革に係る学校・家庭

・地域の連携・協働体制づくりの推進

3 いじめの未然防止に係る具体的な取組の推進

4 災害発生時に児童生徒が主体的に行動できる実践的な防災教育等の推進

5 将来の中学校統合に向けた学校種間のより一層の連携と具体的な取組の推進

- 働き方改革に係る学校・家庭・地域の連携・協働体制の推進

運動部活動の段階的な地域移行の推進



働き方改革の1丁目1番地

- 本町中学校の運動部活動の部活動指導員【町会計年度任用職員】の活用状況について【令和5年度～】

(1) 唐瀬原中学校・・・陸上、サッカー、バスケットボール部（女）バレーボール（女）、柔道 《5／10》

(2) 国光原中学校・・・ソフトテニス（男/女）バスケットボール部（男/女）《4／6》

※外部指導者…唐瀬原中：バレーボール（女子）、剣道 国光原中：軟式野球、美術部



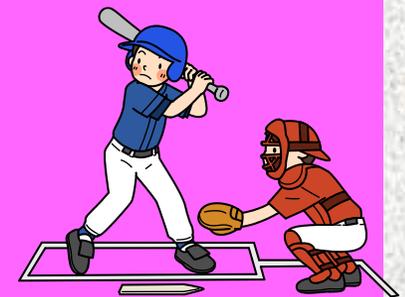
《部活動指導員の活用における成果と課題》

【成果】

- 担当部活動が専門でなく、技術指導等が難しい教員の負担を軽減している。
- 部活動指導員だけで練習や引率が可能なため、教員の時間外勤務の減少につながっている。（特に土日）

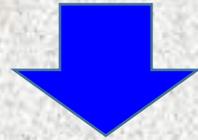
【課題】

- 新たな部活動指導員及び外部指導者の発掘・配置【人材バンク作成】



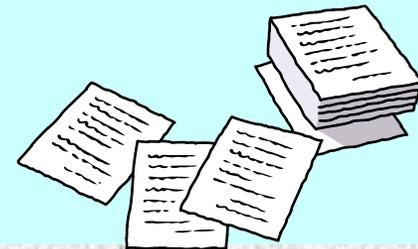
○ 本町における中学校の運動部活動の地域移行に係る
方向性について【継続】

- ・ 運動部活動は、先生（2名又は1名）と運動部活動指導員及び外部指導者による**チームでの指導体制**とする。
- ・ **平日は先生**が運動部活動に関わり、**土曜日と日曜日は部活動指導員又は外部指導者**が指導する。



《対応策》 ・ ・ ・ **運動部活動に係る「人材バンク」作成**

- 地域学校協働活動推進員のネットワーク
- 各スポーツ少年団からの情報提供
- スポーツ推進員、スポーツ協会、競技団体からの情報提供
- お知らせ「かわみなみ」の活用
- 各自治公民館長からの情報収集 など



○ いじめの未然防止に係る具体的な取組の推進

(1) いじめの認知件数、解消件数【令和4年度生徒指導状況報告（3月分）より】

令和4年度内合計	小学校	96件	中学校	11件
累計解消数	小学校	66件	中学校	11件



(2) いじめ防止の取組

- ・ 行動観察やアンケートにより、児童生徒のいじめの実態を把握し、いじめを把握した際は、組織的に対応する

《先進的な取組》

○ 生徒指導支援推進校・・・唐瀬原中学校

- ・ 自己有用感を高める積極的生徒指導の展開
- ・ 小中合同サミット（レインボーサミット）【R5テーマ：学校の校則・きまり】



○ ピア・サポート推進校・・・東小

- ・ 児童が支え合う活動を取り入れることにより、1人1人が大切にされる学級、学校づくりをめざす



施策目標Ⅳ 文化やスポーツに親しむ社会づくりの推進

- 1 文化資源の保存と活用
- 2 町民誰もががスポーツに親しむことができる環境づくり



- 3 学校における体力づくりの推進及び食育・健康教育の推進





○ 学校における体力づくりの推進 (小学生男子)

【現状】

【令和5年度体力テストの結果】…県平均を50として、50以上は○、50未満は●

※ 丸は左から1年、2年、3年、4年、5年、6年の結果

種目	川南小	通山小	東小	多賀小	山本小
握力	●●●●○●	●○○○○○	○●○○○●	○○○○○●	●○○○○●
上体起こし	●●●●●●	○○○○○●	○○●○●○	●○○○○○	○○○○○○
長座体前屈	●●●○○○	●○○○●○	○○●○○●	●●●●●●	●●○●●●
反復横跳び	●●●●●●	○○○○●●	●○○○●●	●●●●●●	○●○○○●
20mシャトルラン	○○○●○●	○●○●●●	●○○○●●	●●●○○○	○●●●○●
50m走	○●●●●●	○○○●●●	●○○●○○	○○○○○●	○●○○○○
立ち幅跳び	○●●●●●	○●●●●●	●○●○●●	●○●●●●	●●●○●●
ボール投げ	●●○○●●	○○○●●●	●●○○○○	●○○●○○	●●○○○○





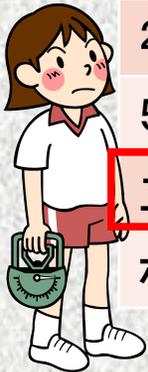
○ 学校における体力づくりの推進 (小学生女子)

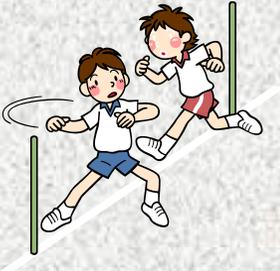
【現状】

【令和5年度体力テストの結果】…県平均を50として、50以上は○、50未満は●

※ 丸は左から1年、2年、3年、4年、5年、6年の結果

種目	川南小	通山小	東小	多賀小	山本小
握力	●●●●●○	○○○●●○	○●●○●●	○○○○●○	○○○○○○○
上体起こし	●●●●●●	○○○○○○○	○○○○○○○	○○○○●●	○●○○○○○
長座体前屈	●●○●○○	●○○○●○	○○○○○●	○●●●●●	●●○●●●
反復横跳び	●●●●●●	○○●●●●	○○○○●●	●●●●●●	○●○○○○●
20mシャトルラン	○○○○●●	○●○○●●	○○●○○○	●○○●●○	●●○○○○○
50m走	○●●○●●	●●○●●●	●●●○○○	○○○○●○	○○○○○○○
立ち幅跳び	●○○○●●	●●●●●●	○●●○●●	●●○●●●	●●○○○○●
ボール投げ	○○○○●○	○○○●○●	●●○○●○	○○○○○●	●●○○○○○





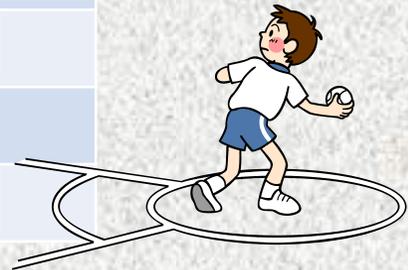
○ 学校における体力づくりの推進 (中学生男女)

【現状】

【令和5年度体力テストの結果】・・・県平均を50として、50以上は○、50未満は●

※ 丸は左から1年、2年、3年の結果

種目	唐瀬原中 (男子)	国光原中 (男子)	唐瀬原中 (女子)	国光原中 (女子)
握力	●●●	○●●	●○●	●●○
上体起こし	●●○	●●○	○●●	●●○
長座体前屈	○●●	●●●	○●●	○●○
反復横跳び	●●○	●●●	●○○	●○○
持久走	○●○	○●●	●●●	●●○
50m走	●●●	●●○	●●●	●●●
立ち幅跳び	●●●	●●●	●○●	○○○
ハンドボール投げ	○●○	●○●	○○○	○○○



【体力向上を図るには・・・】

【課題】

※ 学校・学年・男女によって強化すべき体力（能力）、実態が異なる

ることから、各実態に応じた対策が必要である。

【改善策】

R6スクールスポーツプランの確実な実施

※ 本年度の結果を受けて、スクールスポーツを作成済み

- R6に向けた目標設定及び取組
 - 本年度の結果を考察して目標設定
 - 具体的な取組（体育・体育以外）
 - 数値目標の設定（本年度の結果に基づいて）



【食育・健康教育の推進について】

(保護者アンケート：子どもの生活習慣づくりの取組を通して、会話が 늘어나고 있는지
お子さんが規則正しく生活できたりしているか)



【現状：保護者の意識】

NO.	カテゴリ	(全体)%
1	そう感じる	16.4%
2	ある程度そう感じる	61.4%
3	ほとんどそう感じない	19.1%
4	まったくそう感じない	2.7%
	無回答	0.5%

【R5ふるさと川南の教育に関するアンケート結果より】

【課題】

- 食育や健康教育の推進については、**基本は家庭**であり、**P T A活動の一環**として取り組んでいくことが望ましい。



☆ **食育や健康教育は、学校と家庭が一体となって取り組むべき課題である。**

【実績（各学校の取組例）】



《食育に関する取組》

- さつまいもづくり(1, 2年)
- 郷土料理教室: 浜うどん、
びんちゃんコロッケ(4年)
- 米作り: 田植え、稲刈り
餅つき(5年)
- 「弁当の日」の設定(全学年)
- 給食感謝週間の設定(全学年)
- 食育に関する授業
(2年: 栄養教諭との学習)



《健康教育に関する取組》

- 「健康家族へ親子でチャレンジ」
(全学年)
- 授業における歯科指導(全学年)
- 性教育(全学年)
- コロナウイルス感染症
対策に係る指導(全学年)
- 薬物乱用教室
- 非行防止教室(5, 6年)
- 体力アップ週間(全学年)



- ※ 食に関する正しい知識と望ましい食生活を身に付けること
- ※ 心の健康と病気の予防について理解し、対処方法を身に





～ 御清聴いただき、ありがとうございました ～